



看護科通信



一年生（十期生）

入学して

四月十日、期待と不安を抱き、新たな高校生活のスタートを切りました。四十人全員が、「看護師になる」という大きな夢と希望を抱いて入学しました。

オリエンテーションでは、校長先生から、挨拶の意味や自分の行動に責任を持ち、常に感謝することの大切さについて教えて頂きました。将来、社会人になるうえで必要なことを、この学校で学びたいと強く思いました。

入学して約一か月になりましたが、通学や日々の授業など、まだまだ学校生活にも慣れず不安や戸惑いを感じることもあります。入学前は、どのようなことを学ぶのだろうかという期待に満ち溢れていました。しかし、いざ看護の授業が始まると、授業内容は難しく、更に多くの課題に追われ、大変さを痛感しています。しかし、看護の道を進むと決心したからには、この五年間努力を惜しまず、夢に向かって挑戦していきます。そして、四十人全員で支え合い、励まし合いながら頑張っていきます。看護師に必要な専門的知識や技術の他にも、思いやり、気配り、観察力、コミュニケーション能力などを身につけて、五年間を通して人間的にも大きく成長していきたいと思えます。そのために、勉強だけでなく、部活動や行事など、全てのことに全力で取り組んでいきます。



二年生（九期生）

宣誓式

いよいよ高校二年生になりました。一般科目よりも看護科目が増え、予習・復習に追われる毎日です。

また、宣誓式の準備も着々と進めてきました。今年度の宣誓式では、キャンドル灯火に挑戦します。学年主任の伊藤先生をはじめとし、電気研究部の方々に協力していただき、キャンドルを製作しました。近代看護を確立させたことで知られるナイチンゲールの像から看護の精神を受け継ぎ、その灯火を絶やすことなく引き継いでいくという意味を込めて灯を頂きます。準備段階では、ナースキャップを準備する係、誓いの言葉を作る係、音響係、看板しおり作成係、舞台をセッティングする係、DVD作成係、進行役を設け、全員で役割分担することで協力してきました。全員が、素晴らしい式になることを願い、係を中心に何度も見直しを重ねて作った誓いの言葉は四十人全員で言います。放課後の練習では、声の大きさ、スピード、強調する部分など細かい部分を皆で決め、練習を重ねました。



これから初めての練習が始まり、不安もありますが、四十人全員で頑張ります。

三年生（八期生）

最高学年として更なる成長を

私たち八期生は、四月から高校過程での最高学年となりました。三年生では、年に三回の実習があります。今は、六月に行う二週間の基礎看護実習に向けての準備を行っています。実習をさせて頂く病院が決まり、様々なことを学びたい気持ちと、上手くできるだろうかという不安の中で頑張っています。

さて、今年は龍野北高校が開校十周年を迎えます。これから行われるオープンハイスクールや学習成果発表会などの行事を、今まで以上に良いものにしていく予定です。看護科全員で協力し、楽しむことも忘れずに、しっかりと準備を行っていきたいと思います。

三年生では実習が増え、勉強も難しくなり、課題もあり、毎日が忙しくついでいくことが精一杯です。そんな時こそ、クラスメイトの仲間と助け合い、教え合い、協力し合って乗り越えていこうと思えます。そして、全員が自信を持って専攻科に進学できるように、しっかりと準備をしていきます。最後の高校生活を思いきり楽しもうと思えます。



専攻科一年生

（七期生）

専攻科に入学して

専攻科に入学して約一か月が経ちました。初めは、高校とは違って、授業時間が九十分に延び、専門性の高い内容へと変わった為、戸惑うこともありましたが、現在は少しずつ慣れ、自分たちのペースを掴みつつあります。

ゴールデンウィーク明けには、初めての終講試験を迎えます。やり直しがきかないというプレッシャーや、試験に対する不安がありますが、クラスメート同士、互いに協力して取り組んでいきます。同じ目標を持ち、三年間共に支え合い過ごしてきた仲間と、わからないところを教え合ったり、相談に乗るなど、力を合わせて助け合い、一日一日を大切に、予習・復習を充分に行い、その日に学習したことをその日のうちに定着させ、日々の知識を自分のものになるよう努力していきます。



専攻科二年生

（六期生）

五年目の抱負と目標

いよいよ五年間の最終学年を迎えました。専攻科一年生時は、講義と終講試験の繰り返しで学校での学習が主でした。その生活から一転し、専攻科二年生時は七か月の臨地実習に臨みます。今は、その実習に向けた事前学習を行い、準備を進めていきます。

今年一年の抱負と目標を考えた時、思い浮かぶのは臨地実習に合格し、自分に合った進路を決定することです。看護師国家試験の対策としては、アセスメント力を問われる出題が多くなってきており、化学的根拠を求められるため、幅広い対策が必要となります。これだけを見ると、実習と看護師国家試験は別のものと思いがちです。しかし、そうではなく、実習に一生懸命取り組み、得た学びは必ず看護師国家試験に繋がっています。一日一日を大切に、自分の目標に、向かって努力していきます。一年間の抱負・目標は、クラス目標でもある進路決定、臨地実習、看護師国家試験を踏まえた「絶対合格」

です。全員がそれぞれの未来の為にコツコツと努力を積み重ねていきたいと思えます。来年の三月にはクラス全員が笑顔で喜ぶことができ、四月にはそれぞれが新しい未来に向かって歩き出している姿を想像して頑張りたいと思えます。



知識

宣誓式

宣誓式の起源は、修道女が神に一生仕えると誓うキリスト教の儀式であるといわれています。ナイチンゲールが活躍した時代、看護師は宗教的な意味合いの強い職業だった為です。日本で初めて宣誓式が行われたのは、大正五年です。宣誓式が一般的になったのは、昭和二十五年頃のように、この暗い室内で厳に行われる宣誓式では、学生一人ひとりにナースキャップが戴与され、手にしたロウソクに火が灯されます。キャップは、看護師という職業の象徴であり、ロウソクの火は、看護の精神を表しています。ナイチンゲールがクリミア戦争で看護にあたった際、暗い病室にいる傷ついた兵士たちを、ロウソクの火のもとで見守ったことに由来しています。



看護委員会、看護科通信編集長の西原です。看護科新聞を通して、看護科生徒同士の学年間での情報交換・情報共有を行い、私たちの日々の活動や思いを、楽しく、分かりやすく、多くの方に伝えていきたいと思っています。また、この新聞を読むことで知識も身につけられるように工夫していこうと考えています。これから一年間よろしくお願ひします。